

町田市農地利用地域計画の 更新について

2026年2月5日



地域計画とは

農業者や地域のみなさんの話し合いで作る
将来の農地利用の姿を明確化した地域農業の設計図

地域農業の
現状は？

地域農業の
課題は？

どういう農業を
していくのか？

どんな取組が
必要なのか？

目標地図

誰がどの農地を
耕作するのか？

PDCAサイクル

2025年3月策定

地域計画
の変更

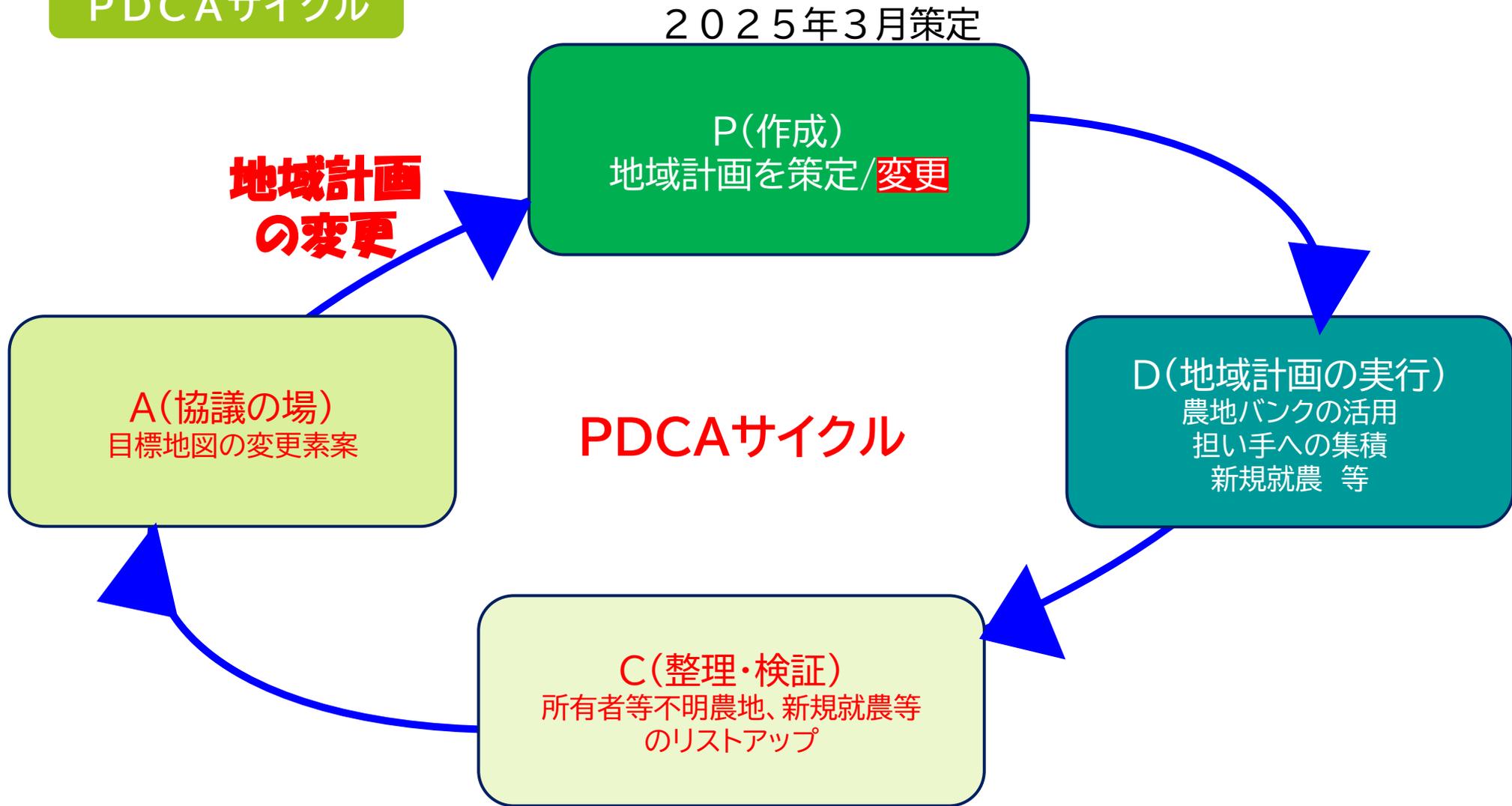
P(作成)
地域計画を策定/**変更**

A(協議の場)
目標地図の変更素案

PDCAサイクル

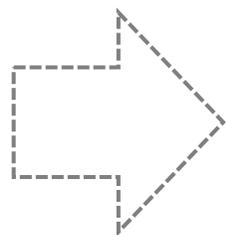
D(地域計画の実行)
農地バンクの活用
担い手への集積
新規就農 等

C(整理・検証)
所有者等不明農地、新規就農等
のリストアップ

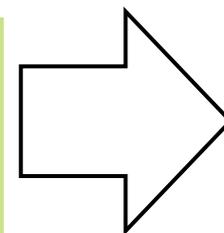


地域計画の変更(ブラッシュアップ) について

人・農地プラン
(地域農業の将来
のあり方)



地域計画
(地域農業の将来のあり方
+ 目標地図)



ブラッシュアップ
(年1回以上)

- 2012年度 創設
- 2019年度 実質化

- 2024年度策定

- 2025年度

地域計画って
どんなもの??



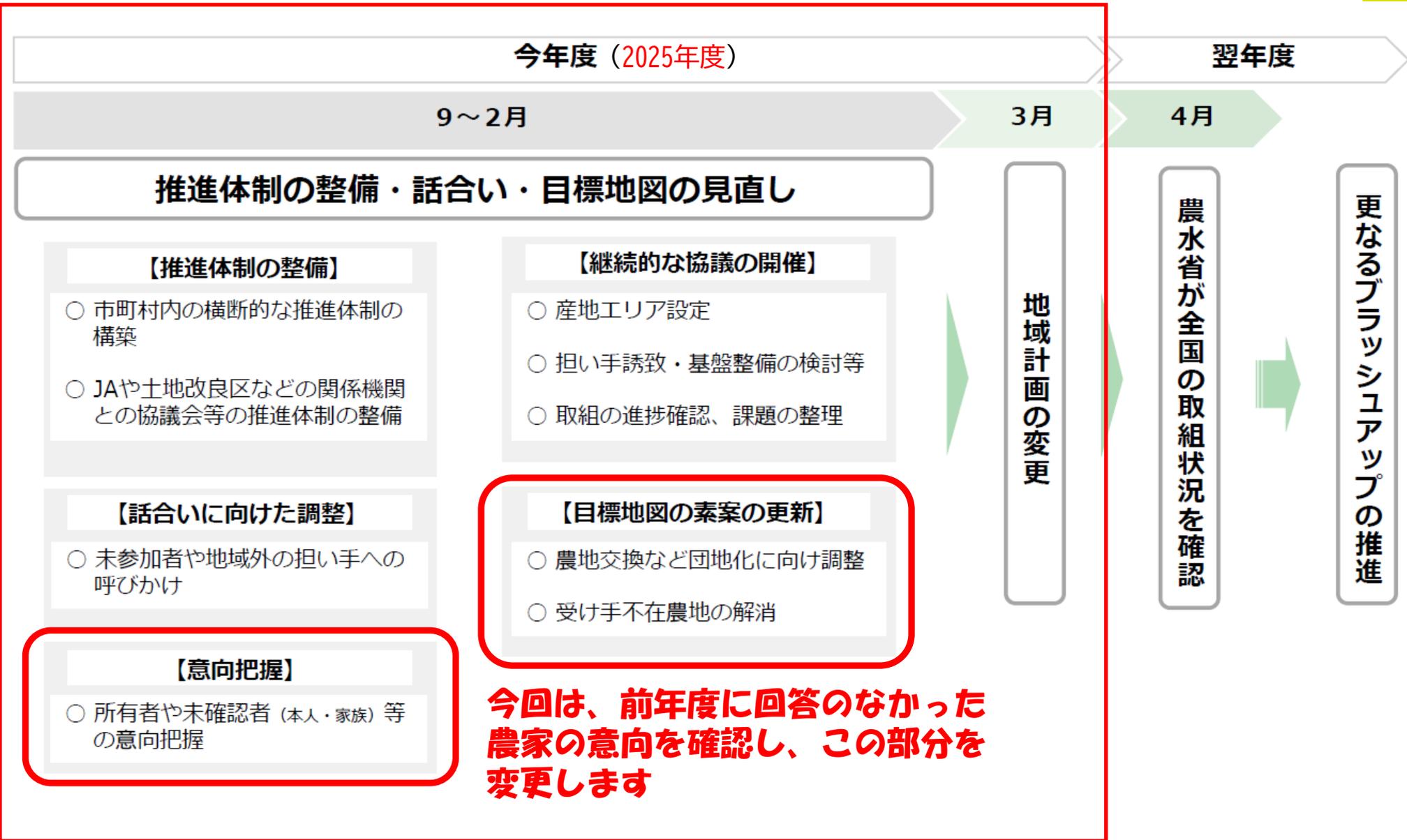
- 地域の将来(概ね10年後)の農地利用の姿を明確化した計画です。

【計画に記載する主な内容】

- 地域の農業の現状と課題(どんな品目を生産しているか、どういった農業がされているか)
- 地域における農業の将来のあり方(どういう品目を作るか、どういう農業をするのか)
- 10年後の農地の利用の姿(一筆ごとに将来の耕作者を明記)を定めた目標地図

【地域計画の変更(ブラッシュアップ)】

- 地域計画は、一度作って終わりではなく、毎年、PDCAサイクルを通じてブラッシュアップしていくことが重要



協議の場

地域計画を変更するためには、農業関係者が変更内容について協議することが必要だが、**書面やHPでの意見募集により、簡素な開催方法をとることも可能**

【 基本的な開催方法 】

対面開催・オンライン開催

- 年1回以上の定期開催や随時開催の日程等をHPや広報で幅広く周知し、できる限り地域の関係者を参集
- 担い手の代表者のみによる協議など、参加者が限定的な場合は、ウェブ会議やトークアプリを活用したオンライン開催も可能
- 対面・オンライン開催を併用するなど、柔軟な運用も可能



オンライン開催も可能

【 簡易な開催方法 】

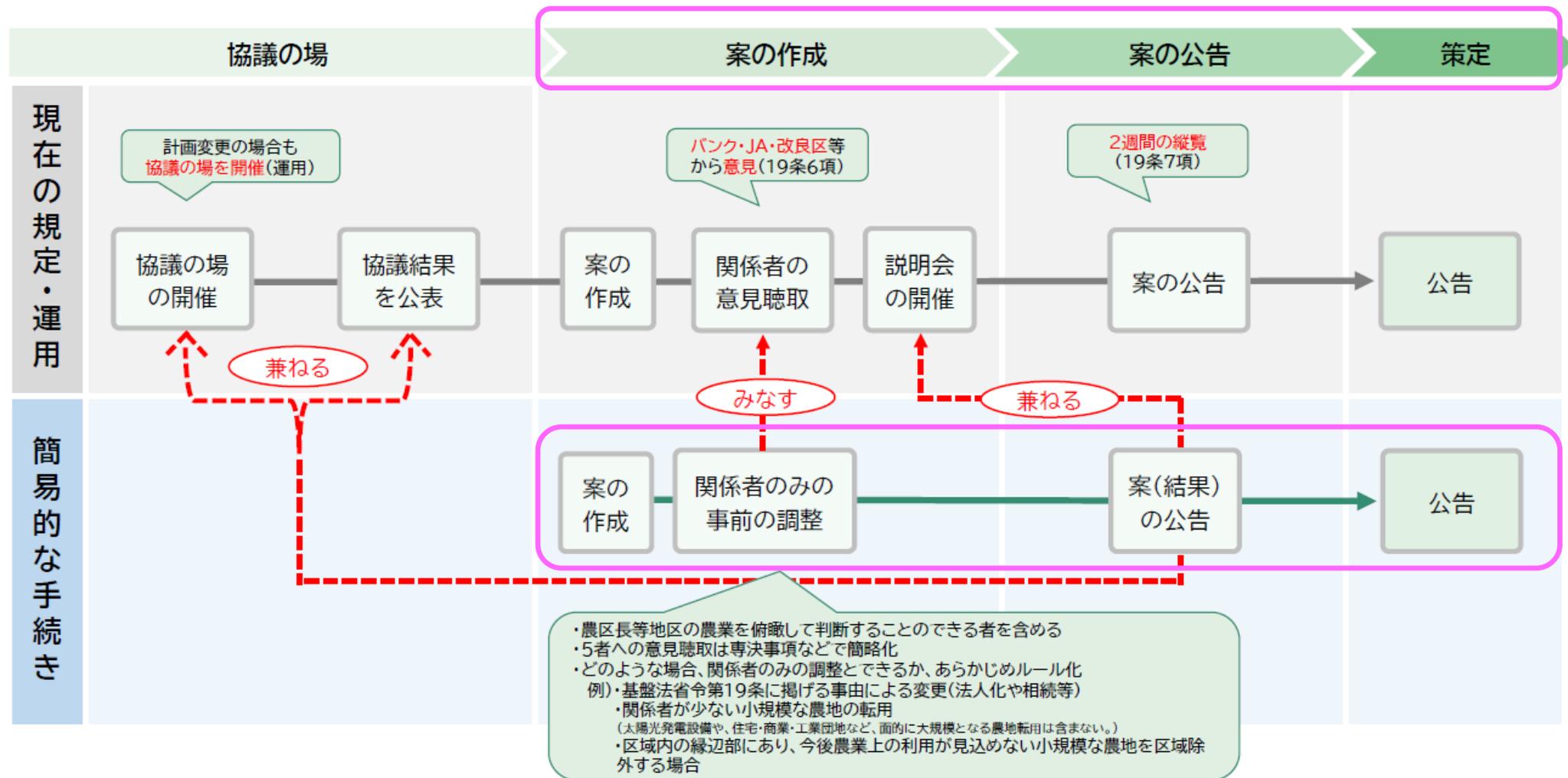
書面・HP開催

- 回覧や広報誌への回答方式や、HP上のパブリックコメントなどで随時開催
- 一定の回答期間を設けることで、事前に協議開催通知があったものとみなす



簡易的に変更する手続き

協議の場の開催を2週間の地域計画案の縦覧・公告で兼ねることができる



ブラッシュアップ作業

調査期間	2025年9月3日（水）～9月24日（水）	
調査対象	2024年度調査で返送のなかった404戸のうち、認定農業者5戸と登記農地面積が大きい95戸の計100戸を対象とした。なお、認定農業者は、担う者である。	
全体の回収率 ・ 回答数	54.4%（前年度51.3%） 450戸（前年度423戸）	※全体827戸
今回の回収率 ・ 回答数	27.0% 27戸	※27戸のうち担う者4戸

	今回調査対象	今回回答数
筆数 (筆)	1,132	305
農地面積 (ha)	63.3	17.9

回答者の総筆数 305筆

うち 問6-1(現在農農地の状況) 回答249筆

問6-2(現在の耕作状況) 回答305筆

問6-4(今後10年以内の意向) 回答305

様式5-2

様式5-2

更新年月日・変更回数を記入

【策定後】

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	—
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	〇〇市 (1 2 3 4 5 6)
地域名 (地域内農業集落名)	△△地区 (◇◇集落)

【ブラッシュアップ後】

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	① 令和7年4月30日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	② 〇〇市 (1 2 3 4 5)
地域名 (地域内農業集落名)	△△地区 (◇◇集落)

新たに意向確認した担う者を追記

【策定後】

属性	農業者	現状			10年後				
		経営 作目	経営 面積	作業受託	経営 作目	経営 面積	作業 受託	目標地 図上の 表示	備考
認農	〇〇〇	水稲	10ha	—	水稲	10ha	—	1	
認就	□□□	水稲	10ha	—	水稲	10ha	—	2	
利用者	(株)〇〇	水稲	50ha	—	水稲	50ha	—	3	
利用者	☆☆☆	水稲	10ha	—	—	0ha	—		
	今後検討		10ha	—	—	20ha	—		
計			90ha	—		90ha	—		

【ブラッシュアップ後】

属性	農業者	現状			10年後				
		経営 作目	経営 面積	作業受託	経営 作目	経営 面積	作業 受託	目標地 図上の 表示	備考
認農	〇〇〇	水稲	10ha	—	水稲	10ha	—	1	
認就	□□□	水稲	10ha	—	水稲	10ha	—	2	
利用者	(株)〇〇	水稲	50ha	—	水稲	50ha	—	3	
①									
②									
計			70ha	—		70ha	—		

アンケート結果①

問3	今後10年以内の農業経営の継承について				
回答	引き継ぐ相手が決まっている	引き継ぐ相手の見込みがある	継承を考える時期ではない	決めていない・分からない・その他	無回答
全体 (27)	5	3	2	14	3
うち担う者 (4)	2	1	0	1	0

問5	今後10年以内の農業経営に関する意向について					
回答	現状維持	規模拡大	規模縮小	離農	まだ決めていない	無回答
全体 (27)	11	1	3	2	4	6
うち担う者 (4)	3	0	1	0	0	0

【今後の課題】担う者1戸は、10年後規模縮小し、露地0.2haを賃貸で貸し出す意向のため、集積先を探す必要

アンケート結果②

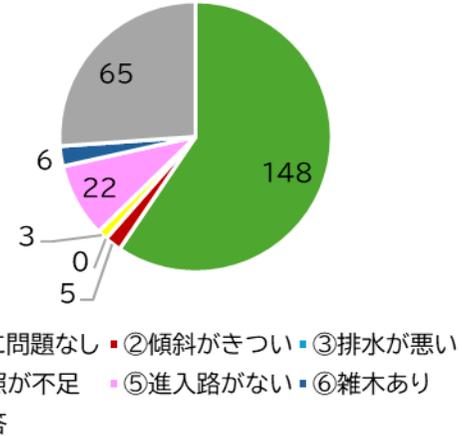
回答あった総筆数 305筆

うち問6-1の回答 249筆

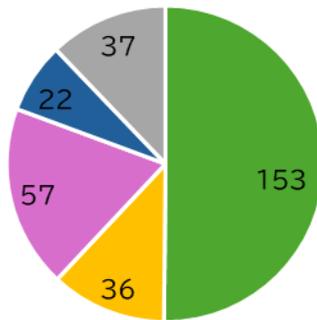
問6-2の回答 305筆

問6-4の回答 305筆

問6-1 現在の農地の状況

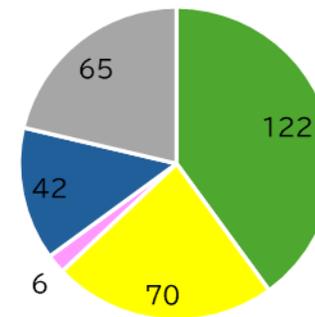


問6-2 現在の耕作状況



- ①自ら耕作
- ②貸し出し
- ③耕作しておらず、手入れできていない
- ④その他
- 無回答

問6-4 今後10年の意向



- ①自ら耕作
- ②貸し出した(借受)地の場合、返却した
- ③売却したい
- ④わからない
- 無回答

アンケート結果③

問7	今後10年以内の意向について、インターネットで公開してよいか		
回答	可	不可	無回答
全体(27)	8	15	4
うち担う者(4)	3	1	0

問8-1	農地あっせん事業（農地中間管理事業）を知っていたか		
回答	知っていた	知らなかった	無回答
全体(27)	17	5	5
うち担う者(4)	4	0	0

問8-2	農地あっせん事業を利用したいか				
回答	利用している	利用したい	利用するつもりはない	未定	無回答
全体(27)	7	6	4	5	5
うち担う者(4)	2	1	0	1	0

アンケート結果④

問9	【農地所有者のみ】農地貸借の不安（複数回答あり）					
回答	ない	返却されないのではないか	原状回復されないのではないか	交渉が大変ではないか	賃料が払われないのではないか	その他
回答数	9	5	6	6	3	1

問10	農地貸借を円滑に進めるための取組（複数回答あり）					
回答	農地あっせん事業の周知	農地あっせん事業活用事業の情報提供	貸出意向農地情報入手しやすく	借りる意向の農業者の情報入手しやすく	その他	無回答
回答数	9	9	6	7	2	7

おわり